

障害者防災リーダー養成講座

ゆめ風基金ではこれまで大規模災害時に障害者支援を行ってきましたが、昨年の熊本地震を見ても、災害時に障害者が取り残される状況は何ら変わっていません。

また災害時にボランティアセンターはすぐに立ち上がるものの、障害者の支援を行うには専門的知識が必要とされ、ボランティアセンターで障害者支援を行うのは難しい現状があります。ゆめ風基金では東日本大震災で岩手、宮城、福島の3カ所において現地団体と協力し、被災地障害者センターを立ち上げ、また熊本地震でも同様の支援センター立ち上げを行い、運営のノウハウや資金の提供を行ってきました。

今後の大規模災害を考えると、ゆめ風基金だけでは力不足なところもあり、障害者支援センターの立ちあげや役割などについて多くの人に学んでもらおうと今回の講座を企画しました。

6月22日(木)
10:30 ~ 16:00

国際障害者交流センター
(ビッグ・アイ)

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
(泉北高速鉄道「泉が丘」下車すぐ 地図は裏面)



— 講師 —

八幡 隆司 認定NPO法人ゆめ風基金 理事・事務局長

水谷 真 社会福祉法人AJU自立の家、わだちコンピュータハウス所長

対象 障害福祉サービスに携わっている方、自立生活センターに関わっている方、または被災地障害者支援センター運営に関心のある方

参加費 1000円(資料代)

定員 80名

(定員になり次第締め切らせていただきます)

プログラム

10:30 被災地に求められるもの

11:20 休憩

11:30 被災障害者センターの運営について

12:30 休憩

13:30 グループワーク

被災地障害者センターのニーズについて

14:50 休憩

15:00 まとめ、質疑応答

16:00 終了

主催 認定NPO法人 ゆめ風基金
共催 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)

手話通訳・要約筆記等必要な方はお申し出ください。

講師紹介



八幡隆司（やはたたかし）

ゆめ風基金理事・事務局長

知的障害者授産施設指導員を経て、「豊能障害者労働センター」設立に関わる。1995年1月 兵庫県南部地震障害者救援本部を設立し、全国のネットワークの協力を得て 阪神間の障害者支援にあたる。以降様々な災害支援に当たる。それらの経験から障害者市民防災提言集、防災ハンドブックなどを手がける。2011年東日本大震災、2016年熊本地震でも現地入りし、地元団体と被災地障害者センターを設立し支援にあたる。



水谷 真（みすたにまこと）

社会福祉法人A J U自立の家、わだちコンピュータハウス 所長
名古屋大学教育学部教育心理学卒業。2000年9月の東海集中豪雨では、法人上げて被災した障害者支援と一時保護にあたった他、2001年度社会福祉医療事業団の助成を得て、被災した障害者100名の聞き取り調査を基に「災害時における障害者支援に関する提言」をまとめた。2010、2011年度、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成により「GIS災害時要援護者支援システム開発事業」「被災地の障害者支援および地域福祉底上げ事業」を行い提言書をまとめた。
主な著書『自立を選んだ障害者たち』『介護保険に任せられないー障害者の生活から発想する支援システム』など。

問い合わせ
申込先

認定NPO法人ゆめ風基金

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-13-43-106

TEL 06-6324-7702 FAX 06-6321-5662

<http://yumekaze.in.coocan.jp/>

yumekaze@nifty.com



申込書

| | | | |
|-------|--------|---------|-----------|
| 氏名 | | 住所 | |
| | | 〒 | |
| 電話番号 | | メールアドレス | |
| | | | |
| 障害の有無 | 介助者の有無 | 必要な支援 | 有の場合、具体内容 |
| 有 無 | 有 無 | 有 無 | |

申込はゆめ風基金までメール、FAX、郵送のいずれかをお願いします。
参加費は当日お支払いください。